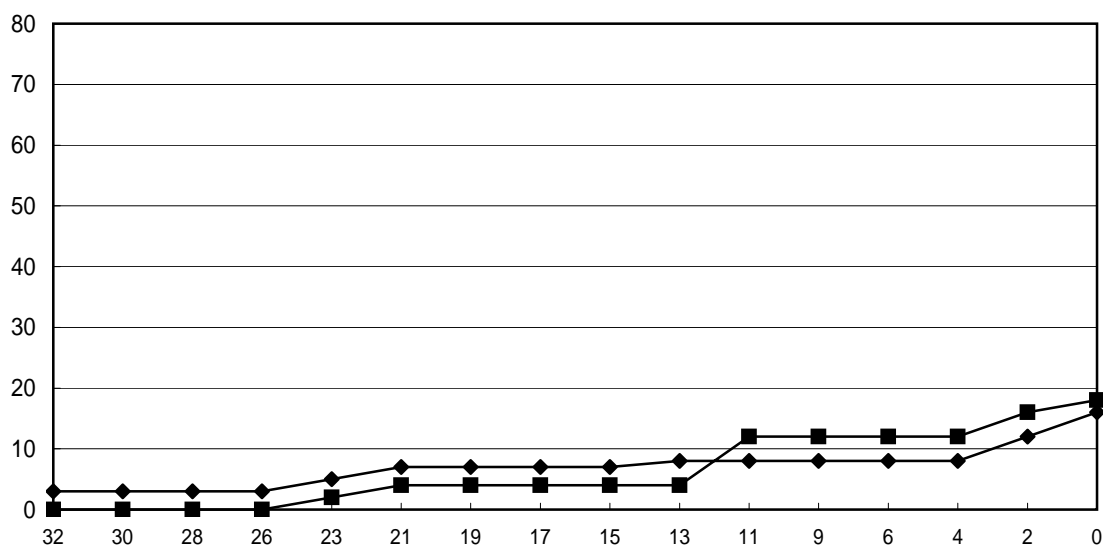


第6回 近畿女性バスケットボール交歓大会

反ゴールデンシニア:16 $\left\{ \begin{array}{l} 3 - 0 \\ 4 - 4 \\ 1 - 8 \\ 8 - 6 \end{array} \right\}$ 18 FINE



戦 評

大阪ゴールデンシニア6,15,17,18,25,FINE4,6,7,10,14
 両チームとも2 - 1 - 2のゾーンディフェンスで始まる。両チーム、外からのシュートを打つが決まらず、調子のつかめない様子であった。その中で、FINEチームはリバウンド・ルーズボールにしつこさ、頑張りを見せ、得点につなげた。後半、メンバーを変えた両チーム、ゾーンディフェンスを行う中で、ルーズボールより速攻で得点を重ねた大阪ゴールデンシニアチーム。14対16と近づかれてFINEはタイムアウトをとる。直後、大阪ゴールデンシニアのオールコートディフェンスがFINEのミス誘い、16対16の同点に。しかし、FINEもオールコートディフェンスになり、相手チームのミスから2得点。この得点が勝利点となった。

文責 塚本

